

花のある空間

大高 令子

風そよぐ草花のパニエ

梅雨入りと夏に向けての気温の上昇で、ムシムシとした日が続く6月。室内に置く植物は「爽やか」をキーワードに、しつらえたいものです。

たとえば、飾る植物には、優しい風を感じるような^{そよ}楚々とした白い草花を選んだり、使う器を花で覆い尽くさずに、余白を残したりすることで、爽やかさが感じられるようになります。

植物の癒しの効果にほんの少しの工夫を加えて、オフィスや暮らしの空間を快適に整えてみましょう。

まず、やや大きめのパニエ（かご）と、そのなかに入れて花を挿すためのタンブラーを用意します。タンブラーには水を入れておきます。

次に、植物の下葉は、水に浸からないようにすべて取り除いておきます。

水を入れたタンブラーをパニエの端にセットし、植物を挿していきます。植物は風が通るようなイメージで高低差をつけます。

植物をタンブラーに入れる際は、あらかじめ小さなブーケにしておいても、1本ずつ入れてもOKです。植物が収まりやすい方法で試してみてください。

湿度と気温が上昇する季節は、毎日の水替えが必須です。忙しい人には、市販の切り花延命剤を使うこともおすすめします。 🌱



今月の花材

マーガレット…… 花芯が黄色い白い花

レセダ…… 細長い花

アストランチャー…… 丸い灰色の花

ヒゲナデシコ…… 紫色の花

その他…… パニエ（かご）、パニエのなかに入れるタンブラー、切り花延命剤

おおたか れいこ <https://rencontrer.jp/>

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。フランスで培ったフローラルワークを手がける。